

漢字練習ノートの進め方の例です。

あくまで例なので、この通りの進め方ばかりは必ずしもありません。参考にしてください。

このまでのやり方で進めても良いですし、より細かい方を覚えてもかまいません。自分でテストをしてみても、それをまよって自分が覚えやすいやり方をバージョンアップさせていくことができます。

学習するのはこの目安は毎年だが、その書きこみは必ず自分のペースで進めてください。
す。別紙(漢1)にも書きまじりましたが、次の二つが大切です。

- 一、しっかりとおぼえること(見なくても書けるか。)
- 二、その漢字を使えるようになること(たとえば、「常」と書けるようになる、で終わりではなく、「常」がつく言葉をとれだけ言えるか。その言葉の意味がわかるか。)

同じ漢字を一日に何度も書くよりは、日を分けて何度も書くほうが、覚えて残すやすいです。なので、最初はノートを上から分けて、その部分は後日あらためて書く方法をおすすめします。

漢字練習ノートの進め方

①四マスを使って、大きな字で書く。となりに読み方を書く。

②書きじゅんを声に出して、二回ゆっくりにいいいに右下に書く。

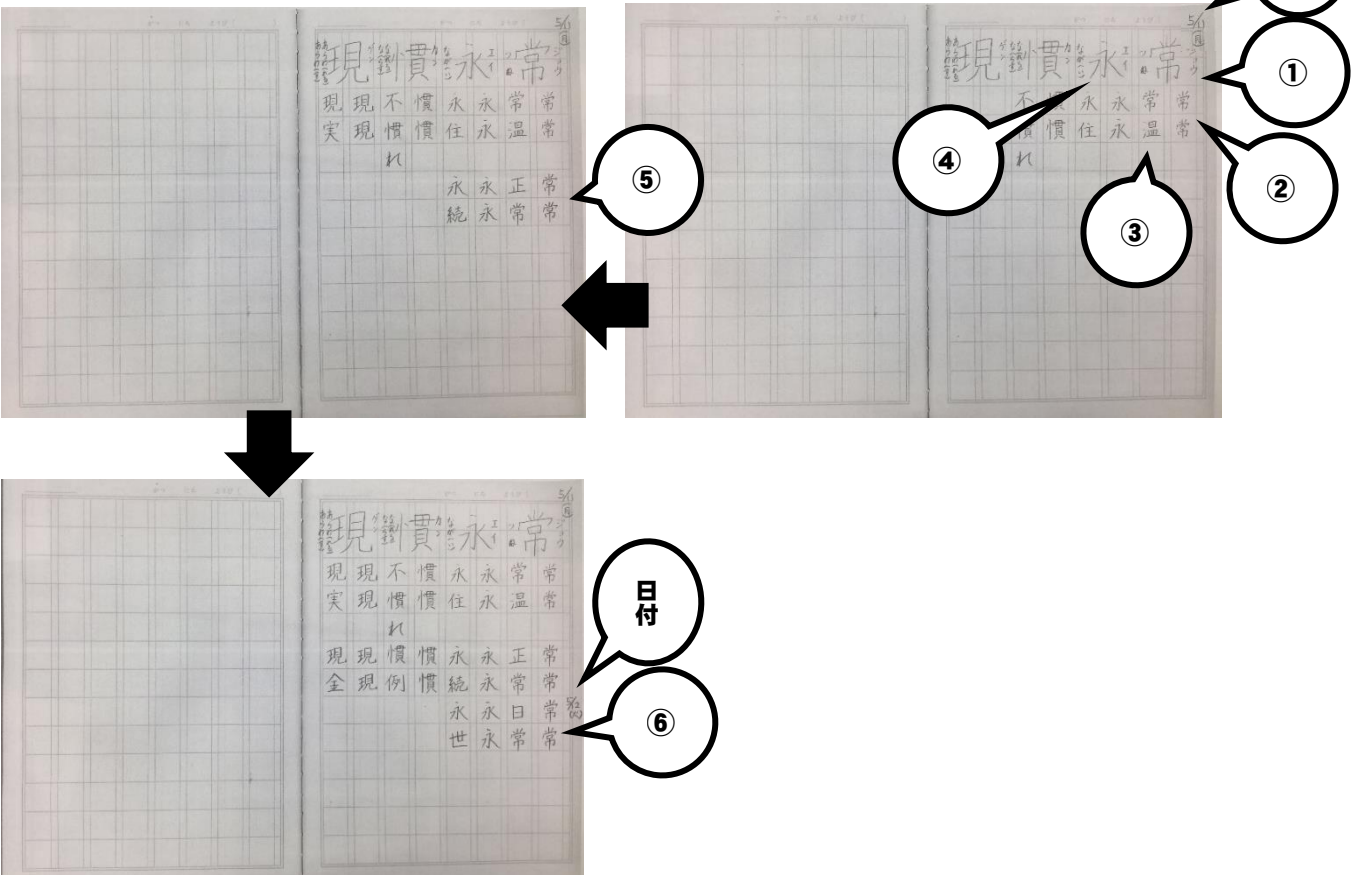
③その左に、漢字ドリルにのっているじゅく語を一つ書く。

(例) 常温

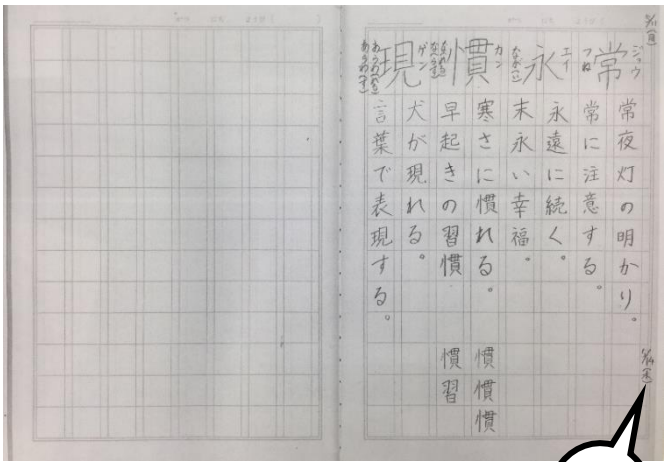
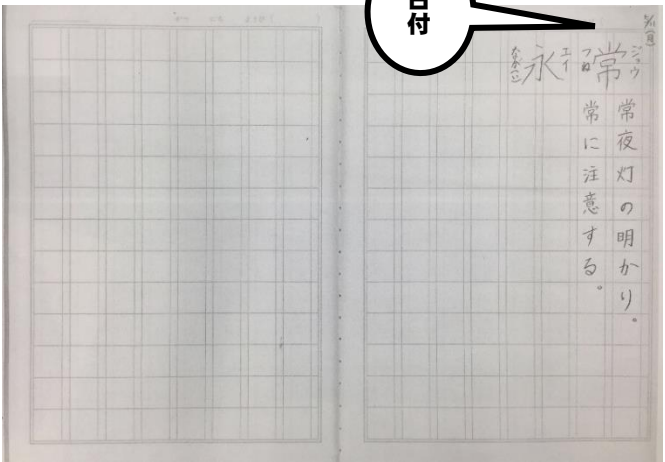
④となりの「永」という漢字にうつり、①〜③と同じように書く。次の漢字も同じように書き、一ページ分(四文字)進める。

⑤②〜④をくり返す。

⑥下の部分は、日をあらためて行う。



左の写真のように、他のページにじゅく語だけでなく、文例の練習をするよ、生きた言葉として使えるようになります。自分でじゅく語や文例を考えるのも、とても良いです。わからない言葉は辞書で意味を調べて書いておくと、語い力（言葉の力）が高まります。



かんたんな漢字や、おぼえた漢字を何度もへり返し書くのではなく、必ずかしいと思った漢字や、テストをしてみてまちがえた漢字だけ、左のようにおまけで少し書くとかがしみます。

自分にとって必要な学習の仕方を、自分で決め、自分で調せいしていけるようですね。

8 わたしは木、いつか、たいせつなころ

西沢 1

- 1 クラスがわかれる。
- 2 じょうやとうのひかり。
- 3 えいえんにのころ。
- 4 なわとびをする。
- 5 がっこうになれる。
- 6 うんどうがだいすきだ。
- 7 こねこがあらわれる。
- 8 くびわをはずしたいぬ。
- 9 てんしゃのなががこむ。
- 10 いぜんのじょうたい。

西沢 2

- 11 えきのかいさつをてる。
- 12 ほうかごにあそぶ。
- 13 とかいてみちにまよう。
- 14 ひこうきぐもがのびる。
- 15 きもちをひょうげんする。
- 16 つねにきをくばる。
- 17 すえながいしあわせをいのる。
- 18 どくしよをしゅうかんにする。
- 19 だんじょこんごうてはしる。
- 20 えのくをませる。

□の言葉は返りがなもきましょう。
○の言葉もかいてみましょう。

▶ 答えは、おもてページでたしかめよう。

テストのページは、自分の実力をためすチャンス！

右のページ(8)を見ながらノートに漢字で書き、左のページ(7)を見ながら、自分で丸付けしてみよう！

7 わたしは木、いつか、大切なころ

西沢 1

- 1 クラスが別れる。
- 2 常夜灯の光。
- 3 永遠に残る。
- 4 縄とびをする。
- 5 学校に慣れる。
- 6 運動が大好きだ。
- 7 子ねこが現れる。
- 8 首輪を外した犬。
- 9 電車の中が混む。
- 10 以前の状態。

西沢 2

- 11 駅の改札を出る。
- 12 放課後に遊ぶ。
- 13 都会で道に迷う。
- 14 飛行機雲がのびる。
- 15 気持ちを表示する。
- 16 常に気を配る。
- 17 末永い幸せをいのる。
- 18 読書を習慣にする。
- 19 男女混合で走る。
- 20 絵の具を混ぜる。

○慣れる

×慣る

「現」には次のような意味がある。
（あらわれる）
（あられる）

④ 慣る

⑤ 慣れる

④ 現実（今の）

⑤ 現実（今の）

④ 答えは、うらページでたしかめよう。